

13.4.20 大山新歓山行報告

M2 田中李樹

① 参加メンバー：8名(敬称略)

M3 荒川 M2 天野 田中 M1 後藤 堀江 C1 鈴江 聖路加看護大4年進藤 東大理学部3年今村

② 行程

7:15 新宿駅集合～7:31 新宿駅発～(小田急線)～8:30 伊勢原駅～伊勢原駅北口バス停4番乗り場 8:45～(神奈川中央バス)～9:00 大山ケーブルバス停～(こま参道)～9:15 追分寺～(女坂)～9:45 阿夫利神社下社 10:00～10:30 見晴台 10:50～(雷ノ峰尾根)～12:00 大山山頂 12:30～12:45 ヤビツ分岐～(イタツミ尾根)～13:50 ヤビツ峠～(神奈川中央バス)～秦野駅(解散)

③ 本文

天候が心配されたが何とか下山まで持ちこたえそうだったため、予定通りの日程で新歓山行を決行した。当日は、新入生一名を含む八名が集まり、やや大きなパーティでの山行になった。登山口近くの駅まで電車で一時間と、都心からのアクセスの非常に良い山だが、天気予報の影響か登山口が人でごった返すようなことはなかった。バス停から登山口までは、土産物屋や食堂などが並びほとんど観光地のような光景だった。阿夫利神社下社までは、ケーブルカー以外に女坂と男坂二つのルートがあったが、比



較的楽といわれる女坂を登ることにした。女坂は道が整備されほぼずっと階段が続いていたものの、それなりに勾配がきつく想定していたよりはずっとハードな登りであった。道中には「女坂の七不思議」と言われる、地藏などの7つの見所が並び、ほぼ並走するケーブルカーを利用しないというのも悪くない選択だったかと思う。下社にも食堂などがいくつかあり、ここで暫く休憩した。



下社から見晴らし台までの道は、以前崩落があり一時期通行止めだったらしく、途中復旧途中と思われる道もあった。道中では、二重滝という小振りながら流路の屈曲した美しい滝を拝むこともできた。この区間は起伏が小さく非常に楽な道のりだった。



新歓山行ということでかなり余裕を持たせてコースタイムを設定していたこともあり、見晴らし台には予定より 30 分ほど早く到着した。ゆっくり休憩を入れようとしたが、4 月で日照もないため気温が低く、ベンチに座っていると体が冷えてしまったので 20 分ほどで出発した。あいにくの天候で視界が悪かったものの、ここからの景色はなかなかだった。晴れていれば、平野に広がる市街地をかなり遠くまで望むことができるかと思う。



ここから山頂まではまたやや急な登りが続いた。登山道は整備されており、細目に休憩を入れつつ登ることができた。集合時間を遅めにし、のんびり登り始めたこともあり、山頂まで30分程のところから、下ってくる登山者としてしばしばすれ違うようになった。中高生や外国人と思われるパーティや小さな子供連れなど、多くの登山者が



登りに来ている様子だった。また、道中には様々な花が咲き、ピンクや紫の花々を楽しみつつ山頂を目指した。



登るにつれ木々の葉は薄くなり、山頂付近では雪はとうに消えているものの未だ冬の景色であった。また、途中からは小雨が降り始め少し先を急ぐことにした。





山頂は広がったが、あまり座る場所もないほど多くの登山客がいた。また、雨が段々と強くなってきていたため、記念撮影と昼食を済ませ早々に下山した。下山で使った道は階段も少なく、登りに比べると登山道らしい雰囲気だった。ヤビツ峠までやや急ぎ足で一時間ほどで下ることができ、それほど濡れることはなかった。計画ではここから柏木林道をとって蓑毛まで行きバスに乗ることになっていたが、雨が降っていたこともあり、ヤビツ峠にちょうど到着したバスに乗って秦野駅に向かった。秦野駅で解散した後、時間のあ
る人は二駅先の鶴巻温泉で、雨に打たれて冷えた体を温めて帰った。



大山はやや観光地的なイメージが強く、山岳部の新歓山行として適切かどうか悩んだが、思いのほか見どころの多い山であった。天候にはあまり恵まれなかったが、普段の山行に比べると多くの参加者が集まり、満足いく山行ができたのではないかなと思う。